
基礎病態学

橋 爪 洋 教授
水 越 正 人 教授
西 尾 真智子 教授*
中 西 雅 子 講師*

1 年次後期・必修

1 単位・30 時間

【概要・目標】

人体の正常についての知識（身体の構造と機能）をもとに、その異常（疾患）の病因と発生機序を理解し、各種病態の理解に必要な基礎知識を習得する。

【授業内容のスケジュール】

(担当)

1) ～ 4)

(病理学総論) 人体の正常についての知識をもとに、疾患の基礎病態である炎症、腫瘍、免疫機構、循環障害、代謝障害などの総論を学習する。

(中西)

5) ～ 8)

(微生物学) 感染性の原因となる微生物の特徴を理解するとともに、感染に伴う生体反応としての臨床的症候についても学習する。

(西尾)

9) ～ 15)

(病理学各論) 各種疾患の基礎病態を総論の知識をもとに学習する。

(橋爪, 水越)

【評価】

筆記／口頭試験 (90%)、出席状況 (10%)

【教科書】

講義プリント

【推薦参考図書】

- 1) 「標準病理学」第6版 医学書院 2019
 - 2) 小熊恵二、堀田博「コンパクト微生物学」南江堂 2015
 - 3) 増澤俊幸「感染制御の基本がわかる微生物学・免疫学」羊土社 2020
 - 4) 平野朝雄、富安斉「神経病理を学ぶ人のために」医学書院 2003
 - 5) 渡辺照男編「カラーで学べる病理学」ヌーヴェルヒロカワ 2019
-

【その他】